

様似町国民健康保険 第3期データヘルス計画(令和06年度～令和11年度)概要版

データヘルス計画の概要

平成25年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「全ての健康保険組合に対し、レセプト等のデータ分析、それに基づく加入者の健康保持増進のための事業計画として「データヘルス計画」の作成・公表、事業実施、評価等の取組を求めるとともに、市町村国保が同様の取組を行うことを推進する。」と掲げられた。こうした背景を踏まえて策定した第2期データヘルス計画を見直すとともに、第3期データヘルス計画を策定して、被保険者の健康保持増進、生活の質(QOL)の維持及び向上を図る。

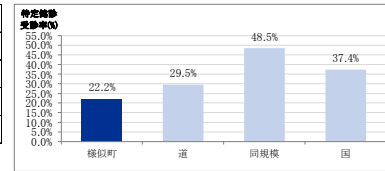
保険者の特性把握

本町の令和4年度における、人口構成概要、男女・年齢階層別被保険者数構成割合ピラミッド、特定健診受診率、特定保健指導実施率、介護保険認定率、主たる死因の割合を以下に示す。

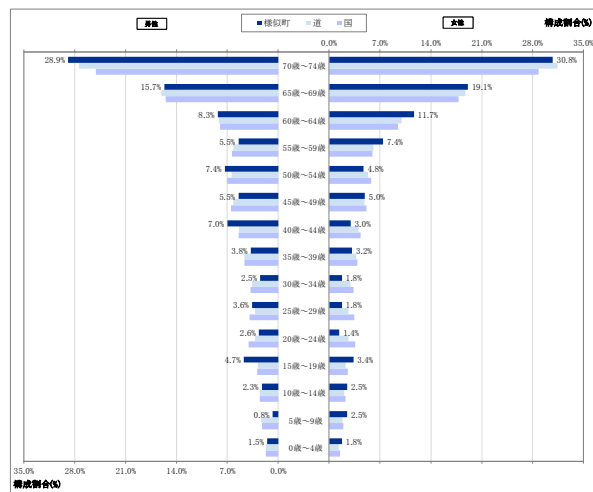
人口構成概要(令和4年度)

区分	人口総数(人)	高齢化率(65歳以上)	国保被保険者数(人)	国保加入率	国保被保険者平均年齢(歳)	出生率	死亡率
様似町	4,043	42.3%	1,094	27.1%	65.1	4.2	18.1
道	5,165,554	32.2%	1,029,195	19.9%	54.8	5.7	12.6
同規模	2,588	41.4%	712	27.1%	54.5	4.9	18.9
国	123,214,261	28.7%	24,660,500	20.0%	53.4	6.8	11.1

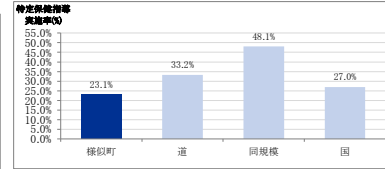
特定健診受診率(令和4年度)



男女・年齢階層別 被保険者数構成割合ピラミッド(令和4年度)



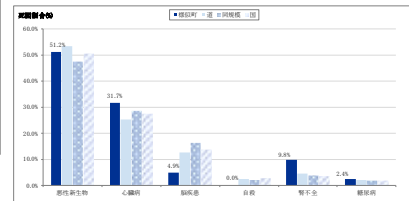
特定保健指導実施率(令和4年度)



介護保険認定率(令和4年度)

区分	様似町	道	同規模	国
認定率	17.7%	20.9%	19.9%	19.4%
認定者数(人)	283	555,336	60,187	6,880,137
第1号(65歳以上)	280	347,930	59,331	6,724,030
第2号(40～64歳)	3	7,406	856	156,107

主たる死因の割合(令和4年度)



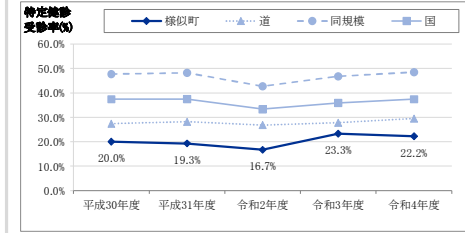
第2期データヘルス計画の各事業達成状況

事業名	事業目的	事業全体の評価
特定健康診査	糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する	改善している
特定保健指導	高血圧及び糖尿病の重症化予防を図る	悪化している
COPD(慢性閉塞性肺疾患)予防	生活習慣病対策として発症予防と重症化予防の推進を図る	改善している
後発医薬品の使用促進	後発医薬品使用割合の向上	改善している

年度別 特定健康診査受診率

令和4年度の特定健康診査受診率22.2%は平成30年度より2.2ポイント増加している。

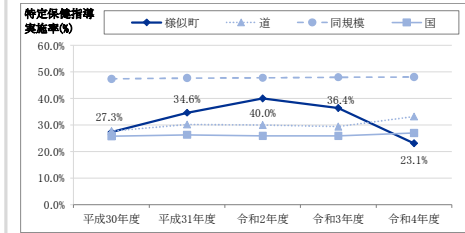
年度別 特定健康診査受診率



年度別 特定保健指導実施率

令和4年度の特定保健指導実施率23.1%は平成30年度より4.2ポイント下降している。

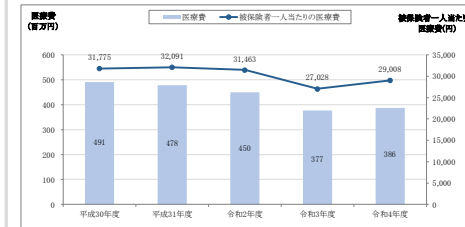
年度別 特定保健指導実施率



年度別 医療費の状況

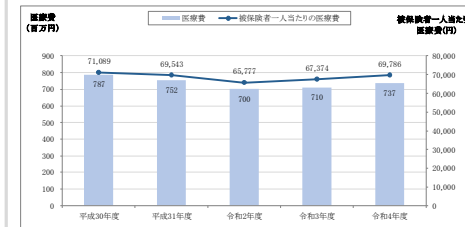
国保の令和4年度の医療費は平成30年度と比べて21.4%減少し、被保険者一人当たりの医療費は平成30年度と比べて8.7%減少している。

年度別 医療費の状況(国保)



後期の令和4年度の医療費は令和3年度と比べて3.8%増加し、被保険者一人当たりの医療費は令和3年度と比べて3.6%増加している。

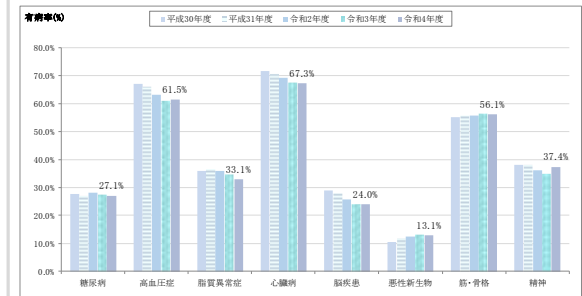
年度別 医療費の状況(後期)



年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病率

心臓病と高血圧症は、有病率が平成30年度より減少しているが、筋・骨格は上昇している。

年度別 要介護(支援)認定者の疾病別有病率



細小分類による医療費上位10疾患

令和4年度における医療費を細小分類別に見ると、医療費上位第1位は、国保が「糖尿病」で7.7%、後期は「糖尿病」で5.6%を占めている。

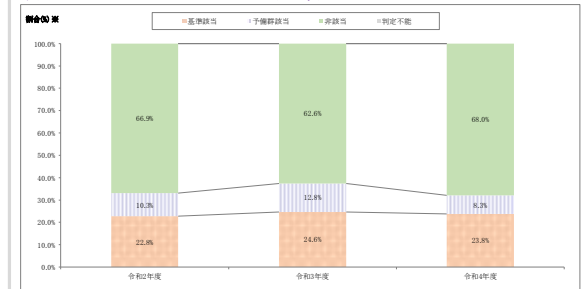
細小分類による医療費上位10疾患(国保)

順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%)※	順位	細小分類別疾患	医療費(円)	割合(%)※
1	糖尿病	29,811,560	7.7%	1	糖尿病	41,339,030	5.6%
2	関節疾患	25,620,230	6.6%	2	不整脈	39,356,380	5.3%
3	高血圧症	22,591,040	5.9%	3	高血圧症	30,105,420	4.1%
4	不整脈	18,726,500	4.9%	4	関節疾患	28,443,910	3.9%
5	うつ病	12,955,180	3.4%	5	脳梗塞	27,657,940	3.8%
6	慢性腎臓病(透析あり)	9,712,380	2.5%	6	慢性腎臓病(透析あり)	21,880,490	3.0%
7	脳腫瘍	9,041,450	2.3%	7	骨折	21,227,270	2.9%
8	大腸がん	8,171,950	2.1%	8	狭心症	18,248,760	2.5%
9	狭心症	8,103,310	2.1%	9	心臓弁膜症	16,791,420	2.3%
10	肺がん	7,349,370	1.9%	10	大腸がん	12,618,610	1.7%

年度別 メタボリックシンドローム該当状況

基準該当23.8%は令和2年度22.8%より1.0ポイント増加しており、予備群該当8.3%は令和2年度10.3%より2.0ポイント減少している。

年度別 メタボリックシンドローム該当状況



検査項目別有所見者の状況

令和4年度の特定健康診査において、国保は16検査項目中8項目が北海道の有所見者割合より高く、後期は、16検査項目中12項目が北海道の有所見者割合より低くなっている。

検査項目別有所見者の状況(国保)

区分			BMI	腹囲	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸
			25以上	男性85以上 女性90以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上
様似町	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	65	60	37	28	4	37	95	13
		割合(%)	36.3%	33.5%	20.7%	15.6%	2.2%	20.7%	53.1%	7.3%
道		割合(%)	30.7%	34.5%	21.0%	15.8%	3.6%	23.4%	52.4%	6.6%
国		割合(%)	26.9%	34.9%	21.1%	14.0%	3.8%	24.9%	58.2%	6.6%

区分			収縮期血圧	拡張期血圧	LDL	クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			130以上	85以上	120以上	1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
様似町	全体 (40歳～74歳)	人数(人)	100	47	78	4	25	59	0	44
		割合(%)	55.9%	26.3%	43.6%	2.2%	14.0%	33.0%	0.0%	24.6%
道		割合(%)	50.0%	21.5%	50.6%	1.1%	14.8%	20.0%	4.4%	20.9%
国		割合(%)	48.3%	20.8%	50.1%	1.3%	21.4%	18.4%	5.2%	21.8%

検査項目別有所見者の状況(後期)

区分			BMI	中性脂肪	ALT	HDL	血糖	HbA1c	尿酸	収縮期血圧
			25以上	150以上	31以上	40未満	100以上	5.6以上	7.0以上	130以上
様似町	人数(人)	34	1	1	1	0	8	0	37	
	割合(%)	39.5%	1.2%	1.2%	1.2%	0.0%	9.3%	0.0%	43.0%	
道	割合(%)	27.4%	1.4%	1.6%	1.5%	5.3%	10.8%	1.5%	36.9%	
国	割合(%)	23.7%	1.5%	1.5%	1.7%	5.4%	12.2%	1.5%	34.1%	

区分			クレアチニン	心電図	眼底検査	non-HDL	eGFR
			1.3以上	所見あり	検査あり	150以上	60未満
様似町	人数(人)	0	8	11	0	8	
	割合(%)	0.0%	9.3%	12.8%	0.0%	9.3%	
道	割合(%)	3.6%	19.4%	8.2%	1.5%	10.0%	
国	割合(%)	4.4%	30.3%	9.8%	1.3%	11.4%	

質問票調査の状況

令和4年度の質問票調査の状況は、服薬の高血圧症、脂質異常症が国保、後期ともに北海道より高く、注意が必要である。

質問票調査の状況(国保)

分類	質問項目	全体(40歳～74歳)			
		様似町	道	同規模	国
服薬	服薬_高血圧症	51.4%	36.7%	39.4%	36.8%
	服薬_脂質異常症	31.8%	29.4%	27.6%	29.1%
既往歴	既往歴_脳卒中	4.0%	3.4%	3.3%	3.3%
	既往歴_心臓病	9.0%	5.7%	6.0%	5.7%
喫煙	喫煙	18.4%	15.9%	16.4%	12.7%
	体重増加	37.6%	35.5%	36.7%	34.6%
運動	20歳時体重から10kg以上増加	74.0%	62.2%	67.6%	59.3%
	1回30分以上の運動習慣なし	26.7%	22.0%	26.4%	24.6%
睡眠	睡眠不足	22.3%	21.9%	24.4%	24.9%
	生活習慣改善意欲	58.1%	64.5%	60.9%	62.7%
咀嚼	保健指導利用しない	20.6%	20.3%	21.4%	20.2%
	咀嚼_かみにくい	24.9%	21.5%	22.3%	21.7%
間食	3食以外間食_毎日				

質問票調査の状況(後期)

分類	質問項目	全体			
		様似町	道	同規模	国
服薬	服薬状況_高血圧	76.7%	62.2%	68.6%	63.9%
	服薬状況_糖尿病	22.1%	12.6%	14.8%	14.7%
健康状態	服薬状況_脂質異常症	43.0%	42.2%	41.6%	44.3%
	あまりよくない	16.3%	8.1%	10.4%	8.9%
運動転倒	以前に比べて歩く速度が遅い	62.0%	58.2%	61.4%	59.1%
	同じことを聞くなどの物忘れあり	17.5%	16.0%	17.1%	16.3%
認知機能	週に1回以上は外出	86.4%	89.7%	85.4%	90.5%
	ソーシャルサポート	91.4%	94.1%	94.7%	95.1%

第3期データヘルス計画の全体の目的

健康課題	事業番号	データヘルス計画全体における目的
生活習慣病 ・健康診査データより、生活習慣に関連した検査項目(BMI・HbA1c・血圧・eGFR等)において、有所見者割合が北海道平均より高い傾向にある。特に血圧に関して、受診者の半数以上が有所見者となっている。 ・医療費及び患者数上位において、生活習慣に關係する疾病が多くを占めている。一方で、生活習慣病の重症化リスクがあるにもかかわらず、適切な受診につながっていない健診異常値放置者、生活習慣病治療中断者が存在する。	①、②、③、④、⑤、⑥	生活習慣病の早期発見・早期治療による重症化予防 レセプトデータ、健康診査データ等から生活習慣病の重症化リスクを有する被保険者を特定し、適切な受療や生活習慣の改善等の行動変容を促すことで、重症化を予防する。
悪性新生物 ・死亡の状況より、悪性新生物が全体の死因の半数以上を占めている。また、精密検査未受診者が存在する。		健康寿命延伸と高齢者支援の充実 医療・介護データの連携を進め、フレイル予防、介護予防を行う。地域で一体となって高齢者の医療・介護・暮らしを支援する体制づくりに努める。
介護、高齢者支援 ・健康診査の質問票より、服薬状況にて高血圧が76.7%、糖尿病が22.1%、脂質異常症が43.0%といずれも道と比較して高い状況である。 ・同じく質問票より、歩く速度が遅いや物忘れありが道と比較してやや多く、週に1回以上の外出や身近に相談できる人がいるが道と比較してやや少ない状況である。	⑦、⑧	医療費適正化と適正受診・適正服薬 後発医薬品(ジェネリック)の普及啓発やお薬手帳の利用促進、服薬情報通知等により、医療費の適正化、医療資源の有効活用と薬物有害事象発生防止を図る。
医療費、受診行動 ・後発医薬品の使用割合は83.5%である。 ・受診行動の適正化が必要な、重複・頻回受診、重複服薬のいずれかに該当する被保険者が存在する。	⑨、⑩	被保険者の健康意識の向上 被保険者一人一人が自らの健康状態を把握し、より良い生活習慣の継続につながるような機会・情報の提供、健康づくりサポートを行う。
被保険者の健康意識 ・健康診査の質問票より、運動習慣がないと回答した割合は74.0%、生活習慣の改善意欲がないと回答した割合は29.5%である。また、生活改善意欲で保健指導を利用しないと回答した割合は58.1%である。	⑪	

事業番号	事業名称	事業概要
①	特定健康診査・受診勧奨事業	過去5年間の健診データを活用し、個人の健診結果に基づき一人ひとりの健康状態に合わせた完全個別の生活習慣改善アドバイスが掲載された「個別受診勧奨シート」を送付する。受診勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
②	特定保健指導・利用勧奨事業	特定健康診査の結果、保健指導判定値以上と判定された対象者に、結果通知のタイミングで効果的な利用勧奨を実施する。利用勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
③	特定健診異常値放置者・医療機関受診勧奨事業	特定健康診査の結果、受診勧奨判定値を超えている対象者に、医療機関への定期的な通院を促す受診勧奨を実施する。受診勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
④	生活習慣病治療中断者等・医療機関受診勧奨事業	生活習慣病にて定期受診している者で治療中断(疑い含む)している対象者に対して、定期的な医療機関への通院を促す受診勧奨を実施する。受診勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
⑤	糖尿病性腎症・重症化予防事業	レセプトによる医療機関受診状況や特定健康診査の結果から、人工透析への移行リスクが高い者を抽出し、保健師・看護師等専門職による保健指導を実施する。
⑥	がん検診受診勧奨事業	がん検診受診率・がん検診精密検査受診率向上のため、個別勧奨を実施する。個別勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。
⑦	高齢者の保健事業と・介護予防の一体的な実施	フレイル対策が必要と思われる高齢者を対象に、専門職による運動指導や保健指導が盛り込まれたプログラムを実施する。
⑧	後期高齢者健診受診勧奨事業	後期高齢者健診受診率向上のため、個別勧奨を実施する。個別勧奨の方法は毎年度見直しを実施する。また、受診率を向上させるとともに介護予防の取組との連動を意識する。
⑨	後発医薬品・使用促進通知事業	現在使用している先発医薬品から後発医薬品に切り替えることで、一定額以上の自己負担額の軽減が見込まれる被保険者に対し、自己負担額の差額等を通知する。
⑩	服薬情報通知事業	多くの種類の薬剤を長期で服用している者に対し、適切な服薬を促すことを目的とした通知書を送付し保健指導を実施する。
⑪	健康ポイントを活用した健康づくり事業	健康ポイントカードを導入し、被保険者に登録を促す。登録者に対しては、健康診査の受診やがん検診の受診等に係る健康ポイント等のインセンティブを有効活用することで、健康意識の向上、健康行動の促進を図る。